



TOMORROW | Taiza Studio

2854 Taiza Tangocho Kyotango Kyoto 6270201  
tomorrowfield.org

2022年6月30日

報道関係者 各位

## ECHO

### あした畑ー丹後・城崎 詳細プログラム発表

今夏開催される「ECHO あしたの畑ー丹後・城崎」では、「境界のない芸術を体感する広野」に轟く心の声=ECHOをメインテーマに、京都北部から兵庫にまたがる山陰地方に会場を設け、食とアートと地域が連携するプログラムを展開します。

このたび、各会場で公開される作品、プログラム等の詳細が決定しました。

魅力的な風景と人々の営みが溢れるこの地だからこそ体験いただけるプログラムの数々です。是非、この機会に御来場ください。



竹野神社 神域 撮影：森川昇

## 1. 特別展 I



竹野神社 撮影：森川昇

2000年以上の歴史を持つ竹野神社を会場に、芸術の根源となる「祈り」をテーマに、祈りの場と祭祀の屋代、彫刻を展示する屋外展覧会。会期中に限り、通常非公開の神域をガイドツアーでご案内します。

■参加作家：佐藤聡、サムソン・ヤン、須田悦弘、中川周士、新里明士

■ツアー参加費：1,500円

## 2. 特別展 II



テレジータ・フェルナンデス  
「Soliloquy(Taiza)」(部分) 2022年

2021年秋に完成した「間人スタジオ」では、衣食住と土地の産業を結びつける総合芸術的アプローチにより、これからの暮らしを提案する作品を展示します。

■クリエイター：安東陽子、嘉戸浩、kuska fabric、佐藤聡、サムソン・ヤン、田中義久、田勇機業、テレジータ・フェルナンデス、中川周士、新里明士

■入場料：500円(間人スタジオのみ)

\*【特別展 I】神域ツアー+間人スタジオ：1,500円

## 3. 特別展 III



須田悦弘「朝顔」2022年

創業300年の日本旅館、城崎温泉 三木屋では、現代美術家・須田悦弘がサイトスペシフィックな作品を制作。同地を愛した志賀直哉の「朝顔」から着想を得た作品が館内に展示されます。

■展示作家：須田悦弘

■一般公開日：7月27日(火)、8月10日(水)

\*要事前予約

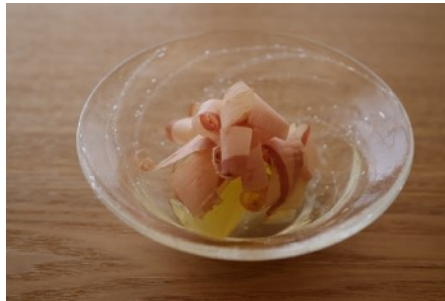
## 4. 食の祭

食、建築、工芸、アートすべてをもって自然の豊かさへの返礼となることがテーマであるECHO。その核となるプログラムが【食の祭】です。

建築家・西沢立衛が監修する会場で食べる喜びを見出す食の場を提案します。また、京都市内で腕を振るう料理人と地元の飲食店・生産者がコラボレーションし、地元食材を外部の視点からアレンジした料理を提案します。



左からレジデンス案、右に《【食の祭】のための納屋》  
(設計：西沢立衛)  
\*レジデンスは来年公開予定。



左：薪窯焼成のパン（弥栄窯）  
右：桃のおひたし（縄屋）

■クリエイター：飯尾醸造、uRashiMa、OFF、Kaikado Cafe、BON DABON、KANABO CHOCOLATE、THE SPICE、竹野酒造、cenci、てんとうむしばたけ、縄屋、ブランカ、ミルク工房そら、弥栄窯、YOiNE

■窯（試作）：新里明士

## 5. 市場

【特別展 I】の会場となる竹野神社内の社務所では、丹後で見つけた美味しい、美しいものを中心に紹介する市場をオープンします。唐紙師・嘉戸浩と美術家・田中義久が共作する市場は、間人の土を織り込んだオリジナル和紙を中心としたインスタレーションが展開されます。

ECHOの体験を持ち帰ることのできる参加作家の作品や地元の飲食物を販売します。

■クリエイター：安東陽子、飯尾醸造、開化堂、嘉戸浩、京丹後市観光公社、佐藤聡、田中義久、中川周士、新里明士、ミルク工房そら

■販売商品：珈琲缶、富士酢、有機野菜、日本酒、アイス、ワイン、グリーティングカード、薬膳茶、茶器、カトラリー等



間人紙の制作風景

## 6. ライブラリー

2000年続く竹野神社の神域の歴史を遡る試みとしてブックディレクターの幅允孝氏によるライブラリーを公開します。

竹野神社で使われていた木材を再利用し、神社に残る書籍、ECHOのテーマに即した現代の書籍を展示。会期中限定で、今を読み解く書を閲覧いただけるプログラムとなります。

■構成／選書：幅允孝



ライブラリー構想イメージ (BACH)

## 7. 雅楽公演

雅楽は1400年前、中国・朝鮮半島より大和朝廷にもたらされた起源を持ちます。2022年は聖徳太子の1400年遠忌にあたります。6世紀末、太子の母・間人皇后が、蘇我氏と物部氏の争乱を避け、しばらくの間滞在していた間人において、奉納の祝詞に続き、安寧を祈る雅楽を、天王寺楽所雅亮会に披露いただきます。



舞楽「蘭陵王」(天王寺楽所雅亮会)

開催日：2022年7月24日(日) 午前11時から午後12時30分まで(午前10時30分開場)

会場：竹野神社 拝殿

演者：天王寺楽所雅亮会

演目：管絃「平調 越天楽」、舞楽「蘭陵王」・「抜頭」

定員：60名(要鑑賞予約)

鑑賞料：椅子席 4,500円、立ち見 2,500円

## 8. イベント&ワークショップ



### 《雅楽ワークショップ》

雅楽の中心的な管楽器「笙（しょう）」「篳篥（ひちりき）」「龍笛（りゅうてき）」や打楽器について学ぶスペシャルワークショップ。

日時：7月23日（土）午後5時から午後6時まで

会場：宮公会堂（京丹後市丹後町宮236）

定員：8名（要参加予約）

参加費：一般 1,500円



### 《畑へ行こう！オーガニック野菜の収穫体験》

オーガニック野菜に触れて、食べて、心と身体で味わいつくすプログラム。

日時：7月23日（土）午前10時から午後1時まで

会場：Organic Cafe てんとうむしばたけ（京丹後市弥栄町黒部441）

定員：15名（要参加予約）

参加費：4,900円



### 《クラフトビネガー作り》

京都・宮津の地で130年近くお酢を造り続ける、飯尾醸造による、丹後産フルーツを用いたクラフトビネガー作り。

日時：8月3日（水）、8月18日（木）午後1時30分から午後3時まで

会場：飯尾醸造（宮津市小田宿野373）

定員：8名（要参加予約）

参加費：4,500円

鑑賞チケット、各種プログラム申込先：

<https://www.tomorrowfield.org/book-online>

お問い合わせ先

ECHO事務局：NPO法人TOMORROW（担当：岡本・橋詰）

e-mail：info@tomorrow-jp.org

展覧会webサイト：www.tomorrowfield.org/echo



展覧会Webサイト



エリアマップ



令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト